



MY HOME DOCTOR

生きがい



ありがとう創刊
200号
SINCE 1999

広報紙「生きがい」は、おかげさまで創刊200号を迎えました。

お陰さまで、おめでたい百を二回重ねることが出来ました。これまでこの「生きがい」を支えてくださいました、読者、執筆者、すべての関係のみなさまに、心からお礼を申し上げます。私たちはさらに百を重ねることが出来るよう精進して参ります。どうぞ今後ともご支援のほど、よろしく願い申し上げます。(編集長)



— 始まりと、これからと —

新年あけましておめでとうござい
ます。
ここに「生きがい」200号をお届け
できましたこと、うれしく存じま
す。



安藤 文英
あんどう ぶんえい

17年前、法人広報紙の創刊を思案
していた私は、編集など発行全般を外部の方にお願
いしようと発起しました。その取り纏め役として今は
亡き井上則之さんに白羽の矢を立てました。そのお人柄
や多才ぶりが私の構想に最適の方であると確信した
のです。ある寒い丁度今頃、氏のお宅にお願いに参
上しました。九州医療センターでの患者でありその
奥様も当院外来で私が担当する、そんな誼ではあり
ましたがふた回りの年の差、緊張し居ずまいを正し
ておりました。結果、私の一途な思いを真っ直ぐに
受け止めていただき、企画を思慮深く練っていただき
ました。健康随筆と表紙絵などの装丁についての細
かい約束事は今に至る植木とみ子四代目編集長の
もと継承されています。氏が亡くなりましたが、後を
追うように夫人が逝かれて早くも10年が経ちま
したが、当時のことは鮮明です。そして思い出すた
び心豊かな気分になれるのです。

忘年の友と申します。世代を超えて共通の目標を
持ちそれを個々の夢に昇華する。これぞ「生きがい」
に通じる将に人生の醍醐味ではないでしょうか。氏と
交わした、毎月発行を継続してゆく、この約束の遂
行は私の生きがいです。また、此処まで続けてこ
られたのも読者の皆様のご支援があればこそ。こ
こに深甚なる感謝をいたしますと共に引き続きの
ご愛読をお願いいたします。

(医療法人 西福岡病院 理事長)

西福岡病院の理念

地域の人々に信頼される
納得と安心の医療・介護・
福祉の提供を目指します。

あろがとう創刊
200号
SINCE 1999

60年の歴史

西福岡病院60年の歩み

名誉院長 廣田暢雄

今年、創立60周年を迎える医療法人、西福岡病院は、昭和30年（1955年）秋に、結核療養所として誕生した。前理事長 安藤精彌先生が、九大胸部疾患研究所との医師交流の場として開設された。

その後、診療内容の充実のための増改築、リハビリ施設、総合外来、各科の増設等、前理事長は、精力的に、病院機能の充実に努力され、今日の総合病院に発展させられた。

私が赴任した平成9年4月には老健施設の鈍音が響いており、理事長を長男の安藤文英先生に譲られ、会長になられた。文英理事長になってから、一般病棟を新築され、更に、緩和ケア病棟を増築された。

今日では、病院構造の変化、患者さんの高齢化に伴い、合併症も多く、その点、総合病院化した西福岡病院は、各科相互の横の連携により、それぞれ合併症も専門的治療が可能なのは、患者さんにとって、大変な福音となっている。

私と西福岡病院

耳鼻咽喉科医師 森園 哲夫

西福岡病院の60周年記念、まことにおめでとうございませう。

この病院に勤務を始めて、10年余となります。温顔と語の故安藤精彌理事長と廣田暢雄病院長（当時）にホテルオークラの日本料理店で初めてお会いした時、即座に奉職を決めました。故安藤先生は、その後も少しは慣れましたが、なにと何くれとなく私に気を使っていたいただき、とても心強く思っていました。

福大耳鼻科初代教授の曾田豊二名譽教授も当院の耳鼻科に勤務しておいでで、曾田先生からも、耳鼻科でやり残したことがあるから手伝ってほしい、とのお言葉もありましたので、それ以来、曾田先生のお守役を自認して今日に至っています。時代の流れで、高齢者の嚥下障害の検査なども増えてきました。幸いに、毎日午前中は福大耳鼻科の応援医師が来てくれましたので、若いドクターの英文論文を査読訂正したり自分の勉強をしたりする余裕もあり、この病院勤務を大いに楽しんでいきます。



西福岡病院と「生きがい」と私

老人保健施設西寿施設長

北原 靖久

西福岡病院創立60年そして広報紙「生きがい」創刊200号おめでとうございませう。継続は力なりと言われていますが、何事も信念とそれに沿った努力なくして継続できるものではありません。西福岡病院は、社是「利用される方々に学ぶ」「納得と安心医療」の下、私が来た15年前に病院は既に創立45年を迎えて活発に増改築を行っており、発展を続けていました。

「生きがい」も既に一年前から初代井上則之編集長の信念ある方針で発行され、見ごたえのある冊子となっていました。その後も二代、三代そして現在の四代編集長のもとに、一号の休みもなく続けられています。私は、すぐに西寿に移ったので西福岡病院にどれだけ貢献できたかは分かりませんが、「生きがい」には、昨年だけでも3回特集に書かせて頂き読者の方々の健康に多少ともお役に立てたのではないかと自負しています。



西福岡病院 60年の歴史

副院長 山田 幸生

1955年9月に開院され60周年をむかえ誠にめでたく、大変ありがたいことである。私は2003年4月に就職し丸12年になり1/5の在職にすぎないが…。この間にも目まぐるしく医療行政は変化している。政府は、医療資源をふやさず病院の質を落とさないで患者には入院生活を快適とはいかなくても安心、安全に送れるように病院の体制を整えるよう要求している。しかし、病院の経営が成り立たないとなんの意味もない。そのため病院の方向性を誤らず立てて行かなければならない。理事長のご心労はいかばかりか…。ここ12年の間の変化を顧みると、それは病棟の再編であろう。

①結核病棟を減らし、②療養病棟の病床をへらし、その分③回復期リハ病棟、④緩和ケア病棟を増設された。そして、⑤一般病棟の半分を地域包括ケア病棟に変更された。今後も変わっていくことが前進していききたい病院の基本理念は変わることはないと考えます。



西福岡病院の沿革 1955▼2015

【昭和】

30年9月 医療法人長垂療養所開設（職員数34名）、

診療科・呼吸器科、病床数106床

管理者・安藤精彌 理事長・小林礼子

38年7月 法人名称を医療法人青心会西福岡病院へ改称

39年6月 新館、管理棟新築、外科開設、病床数126床

58年1月 法人名称を医療法人西福岡病院に改称

61年5月 病床数250床（一般190床、結核60床）

【平成】

9年2月 外来棟新築工事、透析センター（38床）開設

9年12月 療養型病床群療養環境（Ⅱ）届出（48床）

10年5月 介護老人保健施設「西寿」開設

11年2月 新会長安藤精彌就任

新理事長安藤文英就任

11年6月 広報紙「生きがい」発行開始

14年5月 外来棟増築工事竣工

14年10月 本館棟新築

15年5月 医療機能評価 複合病院種別B 認定

19年3月 緩和ケア病棟竣工

20年4月 DPC対象病院としての算定開始

21年1月 新院長中垣充就任

21年12月 TQM発表大会 開始

22年4月 院内保育所「あおぞら保育園」開設

24年3月 OB・OG会第1回総会開催

26年1月 第4代「生きがい」編集長植木とみ子氏就任

26年10月 地域包括ケア病棟の開設（45床）

27年9月 法人開設60周年記念日

27年11月 電子カルテ稼働



1955年9月1日



1955年9月1日 長垂療養所開設（正面）



2015年 西福岡病院全景



1985年 西福岡病院全景

今月の街の行事予定

西陵公民館 ☎092-891-6342

子育てミニミニひろば



日時 1月21日(木) 10:00~12:00

- ◎場所 西陵公民館 児童等集会室
- ◎対象 0~3歳児と保護者
- ◎指導 保育士 大歯美穂子さん

詳しくは公民館にご確認ください。

公民館図書コーナーには、絵本・文庫本など置いてあります。お気軽に足を運んで下さい。



公民館清掃のお知らせ

1月11日(月・祝)は、業者によるワックスがけのため全室利用できません。ご了承ください。

健康講話

《今月のテーマ / 医食同源 その5》

「医食同源その1・2・3・4」にいられていない方にも分かる内容となっております。

と き 平成28年1月23日(土)

午前10時より午前11時まで

場 所 医療法人西福岡病院 本館3階会議室

☎ 092-881-1331

住 所 西区 生の松原3-18-8

住 講 師 外科医師 院長 中垣 充

会 費 無料

お問い合わせ先

医療法人 西福岡病院 総務課 ☎092-881-1331

外 来 診 察 表

診療科目	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日		金 曜 日		土 曜 日
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内 科	副島	児玉	飯田	副島/飯田		副島		濱本		副島	飯田/交代
内 科	原田	原田(15時まで)	原田	原田(15時まで)	原田	原田(15時まで)	原田	原田(15時まで)		金子(15時まで)	
			高野	高野	團	吉川	高野	高野	吉川		
	國武	國武	國武	國武	國武(1・3・5)	國武	團		國武	國武	
消化器内科	安藤(文)/山田		安藤(文)/山田	宮本	安藤(文)/宮本		安藤(文)/宮本		安藤(文)	山田	
循環器内科	大園	松尾	松尾	松尾	松尾	大園	松尾	松尾	大園/松尾		
糖尿病内科	下田		井野	下田		下田	下田		井野		
神 経 内 科	非常勤				非常勤		非常勤				非常勤
外 科	中垣		非常勤		中垣		中垣		非常勤		非常勤
整形外科/リハビリテーション科	勝野	高比良	高比良		勝野	高比良	勝野		高比良	勝野	非常勤
泌尿器科		非常勤		非常勤				非常勤			
皮膚科	福與		福與		福與		福與		福與		
眼科	非常勤		非常勤		非常勤		非常勤		非常勤		
耳鼻咽喉科	非常勤		森園/非常勤		森園/非常勤		森園/非常勤		森園/非常勤		森園/非常勤
婦人科			非常勤								非常勤
緩和ケア内科			川上	川上					川上	川上	
腫瘍内科							川上				
禁煙外来					國武(予約制)						

※ご質問は各科担当医あるいは外来看護長、外来医長までおたずね下さい。

※変更の場がありますので、外来直通☎092-881-1371もしくは病院代表☎092-881-1331までおたずね下さい。(一覧表もごさいます。)

新年明けましておめでとうございます。皆様の希望に満ちた元旦に心よりお慶び申し上げます。

昨年の9月に当法人は創立60周年を迎え、新たな一歩を踏み出しました。本誌「生きがい」は17年目となり、この1月号が丁度200号になりますが、近く「通巻200号祝賀会」が予定されております。四代目編集長 植木とみ子女士の御活躍で人の繋がりや輪がより広がっております。従ってジャンルや内容も実に多彩で次の発行を楽しみにしております。皆様にご覧いただき、御意見がより耳に入ります。皆様に育てて頂いて本紙がより成長する事を切望しております。

さて、本年の干支は「申」です。私が中学生の時、歴史部に属して熱中した事の1つに地域の道祖神の調査がありました。大宰府の水城付近より大野城に向かう道筋の分岐点に大変素朴な石塔がいくつも立っていました。そこには「庚申天」の字が彫ってあり、歴史部の先生より平安か鎌倉時代の古さと聞いて大変驚いた事は今でも覚えています。しかもそこを通る旅行者や地元の人御老人が手を合わせて一生懸命祈つておられるのです。人生は旅にたとえられます。分岐点でどちらの道に危険や災害が待ち受けているか誰もわからないのです。道案内の「申」を、石塚に彫った「庚申天」や「猿田彦」伝説には古代より人々の信仰の対象となつて土着し、現代にも沢山の人の心の支えになっております。西福岡病院は地域の皆様の「庚申天」となつて健康増進に努めていくつもりです。

本年も宜しくお願ひ申し上げます。

新年のご挨拶

院長 中垣 充